



受賞のよろこび

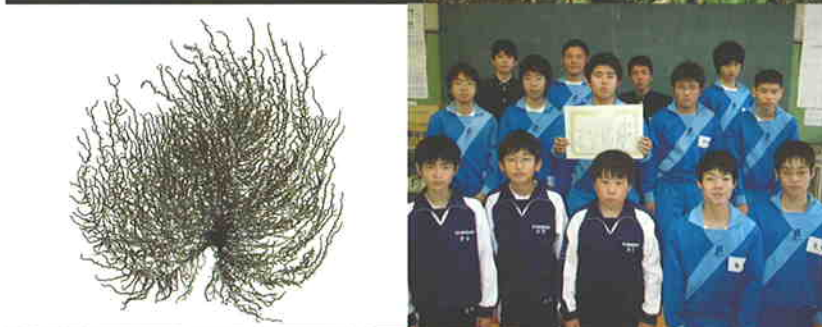
- ・生涯学習の取り組みとして「特にユニークで面白い」発表に対して河合雅雄名誉館長から、「特に優れている」発表に対して岩槻邦男館長から賞状が渡されました。
- ・外部委員を含め6人で構成された選考委員会は賞の選定に迷いに迷った末、口頭発表・ポスター発表の中から以下の8題を選びました。

口頭発表部門受賞



館長賞 「六甲アイランド高校の校内で発見された謎のタンポポ」
神戸市立六甲アイランド高等学校 教諭 岩本 哲人

この度は生徒達に発表の機会を与えて下さり、館長賞まで頂き感謝しています。内容は神戸学の授業として、校内に生えている巨大なタンポポについて調べたものでした。生徒達は、タンポポは奥が深いことに気づき、研究の面白さを感じてくれたようです。また人博の鈴木武先生の指導を受けて、楽しく分かりやすいプレゼンテーションを仕上げました。今後も謎のタンポポについて追求していきたいと思っています。



館長賞 「中学校科学部員によるチスジノリを甦らせる活動」
上郡中学校 科学部 顧問 東山 真也

このたび栄えある館長賞をいただき、科学部員一同大変喜んでおります。平成16年3月からこのテーマに取り組み、まさに雨の日も風の日も、そして凍てつく川に入って凍えながら調べた2年間の積み重ねがこのような形で評価していただき大変感謝しております。これを励みにチスジノリ完全復活を夢見て頑張っていきます。ありがとうございました。



名誉館長賞 「メダカは空を飛べるかーメダカの移動に関する一考察」
猪名川町中学校理科研究会 伊藤 克己・山本 高司

実のところ、発表会で様々な方の優秀な発表を見せて頂き、まさか我々のグループが表彰されるとは思ってもいませんでした。我々の研究は、データの取り方や解析の仕方も粗く、まだまだ不十分なものです。賞を頂いたということは、審査員の先生方の励ましと受け取らせて頂き、一層頑張らねばと身を引き締めているところです。実験にご協力いただいた全ての皆さんに感謝の意を述べさせていただきます。本当に有り難うございました。



名誉館長賞 「アオバズクの食卓に残し餌からみた子育て期の食性」
溝田 浩美

まずは、素人相手にこのような本格的な“企て”をして下さった田中先生にお礼申し上げます。そして、この“共生の広場”に参加できたことを心より感謝いたします。データをまとめ、発表し、文章に出来たことが私にとって貴重な経験となり、いろいろなことを学ぶ場となりました。大谷先生を始め、多くの方々のお力を借りて自分の調査が一つの形を成し、賞までいただけたことは本当に嬉しいことでした。ありがとうございました。

ポスター・展示発表部門受賞



館長賞 「山東町の生きものマップ」
朝来市教育委員会 波多野 哲哉

このたび受賞の連絡を頂き、ただただ驚くばかりでした。有り難うございました。15年度からプレイベントとして出発しました「ひとはくキャラバン in 山東」は16年度に実行委員会を立ち上げ、様々な活動を展開する中、地域みなさんに幅広く参加していただき、その中で様々な情報を収集することが出来ました。これからも地域の方々と共に身近な自然に目を向け、楽しく「共に生きる」社会を目指して行けたらと思っています。



館長賞 「ニホンジカ骨格標本のできるまで」
骨骨（こっこつ）倶楽部 木下 裕美子

昨年の3月に人博が行った学術捕獲に同行してから、早1年が経ちました。解剖から骨格の組み立てまで、不安と驚きの連続でした。シカの歩き方を観察したり、針金の通し方を本で勉強したりと、毎回みんなで悩みながらも楽しく活動出来ました。全員集合するのが難しく、組み立てが中々進まず焦る事もありましたが、なんとか無事にひとはくフェスティバルや共生のひろば等で展示する事が出来ました。今回の館長賞を励みに、今年もこっこつと活動して行きたいと思います。



名誉館長賞 「とっておきの植物画」
小豆 むつ子

私は以前、植物の専門知識は全くないままに、好きな植物を描いて楽しんでいました。しかし、描いているうちに植物の正しい知識の必要性を痛感し博物館に通って勉強しはじめました。今回の発表が受賞に結びついたのは、私の質問等に快く応じて下さった博物館の先生方のお陰と感謝しています。今回の感激を忘れることはありません。これからも、植物画の制作・花の観察を日々の喜びにして生きられたら幸せです。



名誉館長賞 「みつばちと花と人間と」
NPO法人人と自然の会 みつばち研究会 鳥越 悠紀子

展示部門で名誉館長賞をいただきありがとうございました。ひとえに、博物館の先生方を始め、人と自然の会の皆様のご支援のおかげです。

プロ・セミプロの他の研究グループの展示と異なり、私たちが賞をいただけたことは、「?」「!」に代表される子どもたちが科学する心と出会う感動提供の場が、評価されたものと思います。

ミツバチとマネキンー家とともに、今後も子どもたちに出会いの場を提供していきたいと考えております。